

新任保健師研修を受講するにあたって

令和 年 月 日

所属【 】 氏名【 】 経験年数【 年目】

受 講 目 的 ・ 自 己 の 課 題
(受講動機・研修を受けることでどのような成果を期待しているか 等)

学習カード

研修日：令和 年 月 日（ ）

【研修名 】【 NO. 【 】【 氏名 【 】】

午前	<p>テーマ：</p> <p>講師名：</p> <p>内容理解：理解できた・まあまあ理解できた・理解できなかった</p> <hr/> <p>* 自己の実践と照らし合わせて感じたこと、考えたこと、研修内容の今後の実践への活用方法などを記入</p>
午後	<p>テーマ：</p> <p>講師名：</p> <p>内容理解：理解できた・まあまあ理解できた・理解できなかった</p> <hr/> <p>* 自己の実践と照らし合わせて感じたこと、考えたこと、研修内容の今後の実践への活用方法などを記入</p>

【新任保健師研修】

NO. 【 】 氏名 【 】

私のプロフィール

〈保健師経験 年目〉

1. 基本情報

出身学校名	(年度卒)
現職に就くまでの就業経験	なし あり(所属・職種 経験年数 年)
保健師を目指した理由	
目指す保健師像	
自己PR	

2. 地域看護学の実習状況

実習先 実習期間 記載例 〈3年〉 市町村（都城市） 6日間、 保健所（都城） 4日間、 その他（地域包 括支援センタ ー）2日間	1年次 市町村（ ） ____日間、保健所（ ） ____日間 その他（ ） ____日間 2年次 市町村（ ） ____日間、保健所（ ） ____日間 その他（ ） ____日間 3年次 市町村（ ） ____日間、保健所（ ） ____日間 その他（ ） ____日間 4年次 市町村（ ） ____日間、保健所（ ） ____日間 その他（ ） ____日間 * 大学院等で市町村、保健所で実習した場合は以下に記載してください。 * その他の特記事項																												
実習体験の有無	<table border="0"> <tr> <td>地区診断</td> <td>あり</td> <td>・</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>家庭訪問</td> <td>あり（見学・単独）</td> <td>・</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>健康相談</td> <td>あり（見学・単独）</td> <td>・</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>健康教育</td> <td>あり（見学・単独）</td> <td>・</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>健診の問診</td> <td>あり（見学・単独）</td> <td>・</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>関係機関との連携</td> <td>あり（見学・単独）</td> <td>・</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>事例検討会・ケア会議</td> <td>あり</td> <td>・</td> <td>なし</td> </tr> </table>	地区診断	あり	・	なし	家庭訪問	あり（見学・単独）	・	なし	健康相談	あり（見学・単独）	・	なし	健康教育	あり（見学・単独）	・	なし	健診の問診	あり（見学・単独）	・	なし	関係機関との連携	あり（見学・単独）	・	なし	事例検討会・ケア会議	あり	・	なし
地区診断	あり	・	なし																										
家庭訪問	あり（見学・単独）	・	なし																										
健康相談	あり（見学・単独）	・	なし																										
健康教育	あり（見学・単独）	・	なし																										
健診の問診	あり（見学・単独）	・	なし																										
関係機関との連携	あり（見学・単独）	・	なし																										
事例検討会・ケア会議	あり	・	なし																										
印象に残った実 習体験																													

3. 現在の保健師としての仕事

主として従事している業務	
新人で働き始めた時に、困ったこと	① ② ③
仕事にやりがいを感じる時はどんな時ですか？	
やる気が起きない・・・と感じる時はどんな時ですか？	
現在、仕事上、困っていることはありますか？	
困りごとはどのように解決しますか？	
自己研鑽のために心がけていることはありますか？	
心身の健康維持のために心がけていることはありますか？	
今の自分に声をかけるとしたら・・・	

所属【 】 No.【 】 氏名【 】

新任保健師研修（保健師キャリアレベルA-1研修）の評価用紙

評価方法

- それぞれの行動目標毎に、評価基準にそって数値を記入する。また、評価の根拠となった具体的な事実や今後の課題について記載し、自己評価を行う。
- 自己評価後、評価者に評価を依頼し、相互の評価をふまえ、自己の課題を明確にする。
評価者は原則、指導に関わる保健師とし、上司である保健師、指導保健師等、所属（自治体）の状況に応じて決定する。
- 評価の時期
 - 研修開始から概ね 1 か月以内
 - 研修終了後（最終日から 2 週間以内）

※研修を受講していない場合も年度当初・年度末等、所属の評価時期に併せて活用可能。

評価基準

5	達成している（助言なしにまたは少しの助言で発展させることができる）
4	概ね達成している（具体的な助言により達成できる）
3	課題が残る（具体的な助言を繰り返すことのできる）
2	達成できない（具体的な助言を繰り返しても不十分）
1	その他（体験する機会がない等）

達成度

※は宮崎県保健師のキャリアラダーと関連する定義・領域・キャリアレベル

目 標		評価の時期		① 年 月 日		② 年 月 日		※ キャリアラダー	
		到達度		評価の根拠となる具 体的事実		到達度		定義	領域
		受講者	評価者			受講者	評価者		
基本的 能力	1.組織の一員 として自覚を 持つことが できる。	①所属する組織の仕組みと使命を述 べることができる。						I A-1	6-5 A-1 ❶
		②保健所・市町村の業務を理解し、 保健師としての自己の立場と役割を 説明できる。							6-1 A-2 ❶ 6-5 A-1 ❶
		③になりたい保健師モデルを持つことが できる。							6-3 A-1 ❶❷ A-2 ❶
		④自己のキャリア形成ビジョンをも つことができる。						I A-2	6-2 A-2 ❷ 5-3 A-2 ❶
		⑤必要に応じ後輩へのサポートや上 司の指示によりプリセプターとしての役 割を担う。							
	2.連絡や報告 を確実に 行うことが できる	①業務実施前の確認、実施後の報 告を上司に確実にを行うことができる。						I A-1	6-5 A-1 ❷
		②指示されたことを正確に理解し報 告できる。							6-5 A-1 ❷
		③トラブルや対処が困難な場合に適 切に報告ができる。							6-5 A-1 ❷

		評価の時期		① 年 月 日		② 年 月 日		※ キャリアラダー	
目 標	行動目標	到達度		評価の根拠となる具 体的事実	到達度	評価の根拠となる具 体的事実		定義	領域
		受講者	評価者		受講者	評価者			
基本的 能力	3.積極的に地 域住民、上 司、同僚とコ ミュニケーシ ョンをとること ができる。 ※領域 6 - 5 A-2②								6-1 A-1③ 6-5 A-1③ 2-2 A-1②
									6-5 A-1③ A-2②
									6-5 A-2①②
									6-5 A-1①④ 2-2 A-1① A-2①
	4.行政職員と してのモラル、 倫理観を持つ て行動する。							I A-1	6-5 A-1④ 5-2 A-1①② A-2①
									6-5 A-1④
									6-5 A-1⑤
	5. 自己啓発 に努め、知識 の習得やスキ ルの向上に努 める。 ※領域 6 - 2 A-1③								6-2 A-1①③ 5-3 A-1③ A-2②
									6-2 A-1② 5-3 A-1② A-2②
行 政 能 力	1. 担当する 事業の法的 根拠を理解す る。 ※領域 3 - 1 A-1③								3-1 A-1①③
									3-1 A-1③
	2. 担当する 事業の事業 体系、自治体 の政策、方針 を理解する。							II A-1 A-2	3-1 A-1①
									3-1 A-1②③
								I A-2 II A-1 A-2	3-1 A-1④

評価の時期		① 年 月 日		② 年 月 日		※ キャリアラダー	
目 標	行動目標	到達度		評価の根拠となる具 体的事実	到達度		評価の根拠となる具 体的事実
		受講者	評価者		受講者	評価者	
専 門 能 力	1.地区踏査や健康情報などから、地域の健康課題の一部を抽出することができる。 ※領域 2-1 A-1 ③						Ⅲ A-2 2-1 A-1 ③
	2.地域保健の重要性や意義を理解できる。						2-1 A-1 ① 2-1 A-1 ②
	3.基本的な個別支援を単独で実施できる。 ※定義Ⅲ A-1						Ⅲ A-1 1-1 A-1 ① 1-1 A-1 ①② 1-1 A-1 ①② 1-1 A-1 ③ 2-3 A-1 ① A-2 ① 6-4 A-1 ① 5-2 A-1 ③ 1-1 A-2 ② 1-1 A-2 ① 6-4 A-2 ① 5-1 A-1 ①② A-2 ①②
	4.集団支援の方法がわかり、単独で実践できる。						Ⅲ A-1 1-2 A-1 ① Ⅲ A-1 I A-2 1-2 A-2 ①
	①担当地域(業務)に関する既存資料や衛生統計から必要な情報を収集できる。						
	②担当地域の住民の生活実態や関係機関の情報を収集できる。						
	③情報を整理し、地域の健康課題を考えることができる。						
	①予防活動、健康増進活動の意義を体験をもとに自分の言葉で説明できる。						
	②個別事例と集団支援の関連について、体験を通して説明でき、個別事例を地域活動全体の中に位置づけて考えることができる。						
	①担当する地域や業務における個別支援対象者を把握できる。						
	②個人・家族のニーズを判断し、看護計画を立案できる。						
	③対象の状況に合わせて、適切な保健指導などの支援ができる。						
	④必要時、社会資源の活用ができる。						
	⑤実施した個別支援の報告、記録、振り返りができる。						
	⑥必要に応じて助言を受けながら複雑困難な事例に対応できる。						
	⑦PDCAに基づく評価方法を理解し、実施した個別支援の見直しができる。						

達成度

※は宮崎県保健師のキャリアラダーと関連する定義・領域・キャリアレベル

評価の時期		① 年 月 日			② 年 月 日			※ キャリアラダー	
目 標	行動目標	到達度		評価の根拠となる具 体的事実	到達度		評価の根拠となる具 体的事実	定義	領域
		受講者	評価者		受講者	評価者			
専門能力	5.担当する保健事業を指導のもとに実施できる。			①継続した保健事業の企画および運営の一部ができる。				Ⅲ A-2	3-1 A-2①
				②助言を受けながら、実施した保健事業の評価を行い、地域でよくみられる健康課題について、支援を考えることができる。					3-1 A-2②
				③実施した保健事業を振り返ることができる。					3-1 A-2②
				④PDCAに基づく評価方法を理解し、担当する保健事業の見直しができる。					6-4 A-2① 5-1 A-1①② A-2①②
	6.チームの一員として、健康危機管理活動が実践できる。			①関係法規や健康危機管理に関する計画及び対応マニュアルを理解できる。				Ⅲ A-2	4-1 A-1②
				②健康危機発生後、助言を受けながら必要な対応ができる。					4-1 A-1①③ A-2① 4-2 A-1①②

<研修を受講して保健師として変化したところ、成長したところ>

研修終了時または年度末に本人が記載

評価者のコメント

研修終了時または年度末に記載

私の保健師活動〈アクションプラン〉

研 修 名 新任・フォローアップ 中堅・キャリアアップ	NO	所属	氏名	記載日 年 月 日
テーマ				

I. 地域の概要		
II. 地域の現状と 保健師の問題意識	<地域の現状> <保健師の問題意識>	
III. 健康課題		
IV. 取り組みたい 保健師活動	1) 2)	
V-1. 目的 -2. 長期目標 -3. 短期目標	目的 長期目標 短期目標：()ヶ月後の到達目標	
VI. 計画	計画	評価計画
	1)	
	2)	
自己の 行動目標や計画		
VII. 活動の実際 と評価	活動の実際	評価
	1)	
	2)	
VIII. 今後の課題 ・改善点		

取組上の 疑問点など	
---------------	--

最終報告レポート

様式7-1

テーマ
所属：〇〇（市町村・保健所） 氏名：〇〇〇〇 (経験年数 年目)
I. 地域の概要
II. 地域の現状と保健師の問題意識
III. 健康課題
IV. 目的・目標
V. 取り組みの実際
VI. 考察・今後の活動
引用・参考文献